



令和4年 4月 15日
第 475 号
新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

つながっていくこと～恩送り～

校長 飯塚 進

始業式、入学式の前日、4月6日のことです。新6年生のみなさんが、入学式の準備のために登校してくれました。体育館に集合して、担当の係ごとに挨拶をしました。しっかりとした声で、自分たちがどのように仕事をするかを述べたのです。6年生の力強い挨拶に、6年生としてがんばろうという決意を感じました。その後も、隅々のゴミを集めている姿、椅子が直線上に並ぶようにこだわる姿、きれいに飾りを付ける姿、重い荷物を運ぶ姿等、見事な働き方でした。入学式ですから、主に校舎の1階が使用箇所になります。ところが、人があまり行かないであろう2階や3階の奥の方で、人知れず丁寧に掃除をしている6年生もいました。

小学校5年生のはじめぐらいまでは、自分のためだけにがんばることが多かったのではないかと思います。しかし、5年生の後半ぐらいから、やがて大人になってからも、誰かのために、自分以外の人のためにがんばること、がんばらなくてはならないことが多くなっていくように思います。自分のためよりも、人のための方が、不思議とがんばれることがあります。今回の6年生の姿を見て、今年度の東豊小学校も、ますますよい学校になると確信しました。

しかし、これは今年度に限った6年生の姿ではないのです。昨年度もそうでした。その前もそうだと聞きました。つまり、これは歴代の6年生の姿を見て、感じて、こういう6年生でありたいという思いが何年にも渡ってつながってきているのだと思います。

「恩送り」という言葉を聞いたことがあります。学校の場合は、毎年6年生が卒業していきますので、「恩返し」は簡単ではありません。6年生にお世話になったという恩を後輩に送っていくという「恩送り」。今後も大切にしていきたいと思います。

今年度の東豊小学校は、新1年生103名を迎え、児童570名、教職員46名、合わせて616名でのスタートとなりました。感染対策を十分行ったうえで、保護者、地域の皆様のお力添えをいただきながら、よりよい教育活動を推進してまいります。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。